

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 年 月 日

事業所名 放課後デイGranny和歌山

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		なるべく支援室を広く使えるように必要なものはその都度運び込み、物を置かないように気を付けている。	現在1日の利用者が少ないため対応出来ているが、今後1日の利用者が増えたときは、広い場所への移転を考えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		1日の利用者が少ないため、1対1対応以上の対応ができています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	ポータブルスロープやポータブルトイレを用意している。	玄関は段差が多い。トイレは障がい者に対しては少しせまい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		壁に飾りを付け、明るい雰囲気にしていく。毎日掃除をし、清潔さは維持できている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		月1回のミーティングで振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		評価表は今回が初めてである。	今回の評価表をもとに改善に努めていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	今回、初めて公表する。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	行っていない。	今後検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月職員の希望も参考にし研修を行っている。外部研修の機会などがあれば職員に伝達している。	
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントを適切に行い、一人一人に合った支援の計画を作成するよう心掛けている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		4月からの改定に伴い変更予定である。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者や他の職員からの聞き取りを行ったうえで、具体的な支援内容の設定を心掛けている。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		毎回支援室には個別支援計画のファイルを持っていき、すぐに確認できるようにしている。	支援前の確認はなかなかできていないが、今後その時間をとっていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		話し合いの時間を設けている。	今後プログラムチームを立ち上げ計画的に作成していく予定である。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		話し合いの時間を設けている。	今後プログラムチームを立ち上げ計画的に作成していく予定である。

主な支援の提供	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		具体的に決められていなかったため、今後きめ細やかな課題の設定を心掛けていく。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		イベントを設けて集団活動をしている。	1日の人数が少ないため、今のところ個別活動が中心になってしまっている。イベントなども計画に盛り込むことで集団活動を組み合わせていく。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ホワイトボードを用いることにより、目に見える共有を行っている。短い時間であるが簡単な打ち合わせをしている。	支援開始前に、当日の支援の
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援中に気づいたことを伝え合ったり、チャットワークでの共有をしたりしており、加えて連絡ノートも用いたダブルチェックを行う。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の検証改善にまで至っていないため、今後行っていく。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6か月に1度のモニタリングを実施し、見直しの必要性の判断をしている。	
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		重度心身障がい児で活動が限定されるため、なかなかうまくできていないので、今後プログラムチームが中心となり内容を考えていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議が実施されていないが、医療的ケア委員会には、看護師と児発管の二人が出席している。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との連絡調整や情報共有は訪問、送迎時、電話連絡等により密に行っている。	
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		学校やリハビリに見学をお願いし、連携した支援を行っている。	
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		子どもの主治医とは連絡を取ることができるようにしている。協力医療機関には毎月一回来ていただいている。	今後主治医を訪問し、連絡体制を強化したり、情報提供を受けたりしていきたい。
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	小学校の低学年の利用者がいない。	
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	まだ学校を卒業した利用者がいない。	

の 連 携	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修案内は職員に周知し、参加できる職員は参加している。	
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		利用者の兄弟との交流などしかないため、今後近くの学校などに相談し、交流する機会を作りたい。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加をしている。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時その日の支援内容や状態を伝えている。連絡帳やラインでやり取りを行っている	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		保護者の方の意向を聞きながら行ってきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		時間はかかるが、丁寧に説明をしている。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		時間が合わないときなどは、電話で説明をさせていただき、時間が取れるときにお会いしてお話しし、同意を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時などできるだけ相談しやすい対応をこころ掛けている。ラインでのやり取りを密に行っている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	ママカフェの企画も行ったが、参加者が集まらず、実現できずにいる。	開催を進めるがなかなか参加者がなく行えていない。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談の窓口を多く設け、いつでも相談しやすい体制を整えている。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		通信を作成したり、SNSの運営をしている。適宜ポスターや毎月1回の通信を発行。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報のファイルは施錠できる棚に入れている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		顔の表情や態度、声に出す以外に、カードやアイウエオ表ipad等の方法での伝達手段で工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		イベントの時などに協力していただいている。	今後招待するイベントなどもしていきたい。
非 常 時 等	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを作成し、訓練を行っているが、認知度が低いため、周知していく。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			行っているが、必要最低限の訓練は行っているが、今後年間計画にそって実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		アセスメント時にしっかり聞いている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		現在アレルギーを聞いている方はいらっしゃらない。	

の 対 応	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ファイルにまとめている。 チャットワークで共有を行い、毎月の会議で、再度共有している。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		計画的に会議研修を行っている。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		バギーや車椅子に乗る際についてなど考えられることについて、利用前、文書を用いて説明を行い、了解を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。